

畜産特別支援資金融通事業

1 事業の目的

負債の償還に支障を来している経営や家畜伝染病発生により深刻な影響を受けた経営に対する低利資金の円滑な融通を支援する。また、多額の資金を必要とする畜産経営の円滑な資金調達に資するために、動産担保融資が広く利用できる環境整備を支援する。

2 事業の内容

(1) 畜産特別資金

① 畜産リノベ資金（大家畜・養豚特別支援資金）

負債の償還が困難な畜産経営に対し、長期・低利の借換資金を融通する融資機関へ利子補給を行うとともに、経営改善指導及び債務保証に対する支援を行う。

- 貸付条件（利率は令和7年11月19日現在）

| | | 経営改善資金 | | | 経営継承資金 |
|--------|-----|---------|-------|------|--------|
| | | 一般 | 特認 | 残高借換 | |
| 償還期限 | 大家畜 | 15年以内 | 25年以内 | | |
| | 養豚 | 7年以内 | 15年以内 | | |
| うち据置期間 | | 3年以内 | 5年以内 | | |
| 貸付利率 | | 2.10%以内 | | | |

注：経営改善資金で残高借換を行うことができるのは令和9年度のみ。

- 融資枠（令和5～令和9年度） 500億円（大家畜450億円、養豚50億円）
- 融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等

② 酪農・肉用牛担い手緊急支援資金

経営環境が厳しい大家畜経営に対し、3年間の負債償還額の借換資金を緊急的に融通する融資機関へ利子補給を行うとともに、経営改善指導及び債務保証に対する支援を行う。

- 貸付条件（利率は令和7年11月19日現在）

| | | |
|--------|-----|---------|
| 償還期限 | 大家畜 | 25年以内 |
| うち据置期間 | | 5年以内 |
| 貸付利率 | | 2.10%以内 |

- 融資枠（令和8年度） ①の融資枠（大家畜450億円）と共用
- 融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等

(2) 家畜疾病経営維持資金

口蹄疫等の家畜伝染病発生に伴う経営の停止、畜産物等の単価の下落や売上の減少等により深刻な影響を受けた畜産経営に対し、経営再開等に必要な低利資金を融通する融資機関へ利子補給を行う。

- 貸付条件（利率は令和7年11月19日現在）

| | 経営再開資金 | | 経営継続資金 | 経営維持資金 |
|--------|---------------------|--------------------------|--|--------|
| | クイック融資メニュー | 通常メニュー | | |
| 貸付限度額 | 手当金等交付見込額（上限3億円）（※） | 個人：2,000万円 法人：8,000万円 | （1頭当たり、100羽当たり） 乳用牛13万円、肥育牛13万円、繁殖用雌牛6.5万円、肥育豚1.3万円、繁殖豚2.6万円、家きん5.2万円、繁殖用めん羊及び山羊1.3万円 | |
| 償還期限 | 2年以内（一括償還） | 7年以内 | | |
| うち据置期間 | - | 3年以内 | | |
| 貸付利率 | 無利子 | 1.675%以内 | 2.10%以内 | |

※手当金等交付見込額：家畜1頭羽当たりの単価×処分頭羽数。保証料は全額免除。

- 融資枠（令和4～令和8年度） 120億円
- 融資機関 農協、農協連、農林中央金庫、銀行等

(3) 畜産動産担保融資活用支援事業

地域、経営規模又は畜種に関わらず、必要に応じて畜産動産担保融資が広く利用できる環境整備を進めるため、畜産動産担保融資の事例蓄積を継続するとともに、家畜の一般担保化へ向けた課題検討を行い、検討結果を広く融資機関に周知する。

- 事業実施期間 令和8～令和10年度

3 事業実施主体 （公社）中央畜産会

4 所要額 1,143百万円

担当課：畜産局企画課

代表：03-3502-8111 内線4896